

委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)

予算事業名	高度部材に係る研究開発促進事業費		事業開始年度	平成19年度
団体名	財団法人三重県産業支援センター			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	農水商工部関係補助金等交付要綱			
委託料・補助金等の 用途 (平成22年度分)  <small>※委託料は設計ベースのため、前頁の 決算額における委託料と一致しない</small>	委託料・内 訳 補助金等	費目	概要	金額
		人件費	給料、職員手当、共済費等	33,359千円
		事業運営費	報償費、旅費等	8,965千円
		維持管理費	事務庁費	22,726千円
				千円
				千円
			千円	
委託料・補助金 総額				65,050千円

※以下、法律で財務情報の公表が義務付けられている団体（出資比率50%以上の団体、社会福祉協議会等）については必須記入。その他、必要と思われる場合に記入。

団体概要	(財)三重県産業支援センターは、中小企業支援法及び中小企業新事業活動促進法に基づく、県内で唯一の中小企業のための中核的支援機関であり、販路開拓・拡大の支援、経営・資金の支援、ものづくりにかかる技術支援、人材育成の支援などの業務を行っています。									
	資本金	1,318,958 千円	役員 職員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	県出資金	647,408 千円		役員	4	2/2	15	0/1	2	0
	出資比率	49 %		職員	37	28/2	63			

団体の収入概要 (平成22年度)	項目	金額	概要(詳細等)
	国からの財政支出金	743,689千円	補助金(文部科学省・経済産業省)244,114千円、委託金(経済産業省)499,575千円
	県からの財政支出金	773,884千円	補助金692,176千円、委託金80,456千円、負担金1,252千円
	市町村からの財政支出金	183,624千円	
	委託料・指定管理料	0千円	
	補助金	176,105千円	
	その他	7,519千円	負担金収入
	その他	321,308千円	基本財産運用益 17,432千円 特定資産運用益 137,978千円、 事業収入 89,885千円、雑収入49,843千円など
総計	2,022,505千円		

団体の支出概要 (平成22年度)	項目	金額	概要(詳細等)
	事業費	1,115,477千円	補助金・助成金 154,916千円 委託金 293,716千円 減価償却費 160,984千円など
	管理費	1,572千円	
	人件費	517,628千円	
	総計	1,634,677千円	
利益剰余金 (または繰越欠損金)	平成22年度	387,828千円	

# 高度部材イノベーションセンター（AMIC）の取組及び実績

## 1 事業の概要

- ・「高度部材イノベーションセンター（AMIC：エイミック）」は、「(1)最先端の研究開発」、「(2)中小企業の課題解決支援」、「(3)産業人材の育成」の3つの課題を1カ所で行う、県内ものづくり中小企業を元気にするための拠点施設です。
- ・ここでは、複数の企業・組織が「連携」して新しい事業や研究等に取り組むことで、それぞれが持つ「強み」を効果的に発揮することができるよう事業を進めています。

### (1)最先端の研究開発

- ・AMICには、現在15のプロジェクトが入居し、研究開発を実施しています。主な研究内容は以下のとおりです。

#### 【主な研究概要】

- ・レアメタルの一種であるセリウム（フラットパネルディスプレイ等のガラス研磨剤として使用）の代替材料の開発（NEDO採択事業）
- ・今後様々な分野への応用が期待されるシート型(薄型)のポリマーリチウム二次電池の開発（文部科学省採択事業）
- ・その他、民間主体による太陽電池、燃料電池関係等の研究開発

#### 【研究成果の県内企業への波及効果】

- ・これらプロジェクトの研究成果が、県内企業の新たな事業展開等に結びつきつつあります。セリウムプロジェクトに参画している(株)小林機械製作所(四日市市)が、従来の10分の1のセリウム使用量で研磨可能な新型装置を開発中  
A社(四日市市)が、研磨機のパッドのアタッチメントを製品化し、販売を開始  
B社(四日市市)が、将来的に研磨剤の製品化のため、サンプル出荷

### (2)中小企業の課題解決支援

- ・高度な専門的知識・技術をもったコーディネーターを配し、企業訪問による個別相談やAMICの評価計測機器の開放により中小企業の課題解決などの支援を行っています。

#### 技術相談コーディネーター（5名）による支援

- ・技術相談コーディネーターが企業訪問により、技術相談や国等の競争的資金の獲得など、課題解決に向けた支援を行っています。

#### （参考）企業訪問件数

平成20年度：323件、平成21年度：292件、平成22年度：372件

#### 【成果事例】

（株）ヨシザワ（鈴鹿市）、富士電機サーモシステムズ(株)（鈴鹿市）、（株）ロンビック（四日市市）、富士物流（株）(四日市市)の4社が連携して、難燃性でリサイクルが困難な発泡樹脂（ポリエチレン等）を、高温スチームを用いてリサイクル、シート化して包装資材として再利用する技術を開発し、現在、市場化に向けた取組が進行中。（NEDOエコイノベーション事業、事業費約1,000万円）

県内企業が、県外大学と連携して新型センサー（CO2濃度を計測するセンサーの性能向上や小型化、今後は医療用途へも展開）を開発中。（JSTへ補助申請中）

こうした取組を通じて、9月に(株)HME、伊藤工機(株)(四日市市)、試作サポーター四日市の三者が新たにAMICに入居。

### 評価計測機器の開放（評価計測機器アドバイザー 1名）

- ・ 8つの評価計測機器を取り揃え、地域の企業に安価にて開放し、中小企業の研究開発の高度化や課題解決を支援しています。

#### 【利用事例】

- ・ 自社製品の耐腐食性の優位性の証明、試作開発品のスクリーニング、ISO規格による性能証明など

（参考）評価計測機器利用実績（利用件数・利用時間・使用料収入）

平成20年度	89件	5,882時間	175万円
平成21年度	133件	7,915時間	132万円
平成22年度	149件	8,258時間	159万円

### (3) 産業人材の育成

中小企業単独では取り組むことが困難な実践的な人材育成を、本県に拠点を置く大企業にも研修施設・ノウハウ・人材等の面で協力をいただきながら、地域の産業特性を踏まえつつ、実施している。これまで約1,000名（北勢地区：約750名、中勢地区：約160名、南勢地区：約50名）の方に受講いただいております。90%以上の受講生から高い満足度の回答をいただいております。

こうした評価の中には、本講座で学んだ事項を自社に取り入れ、稼働率の向上や作業時間、不良品、その他製造コストの削減等、具体的な成果に繋がったとの意見も多数あります。

#### 【成果事例】

企業C（桑名市）（H20）

業種 金属加工、樹脂加工、表面処理、熱処理

成果 脱脂不良等、ロス排除による再処理率の減少（8.75% 4.78%）

企業D（四日市市）（H21）

業種 化学（機能性食材、工業用素材等）

成果 製品の充填工程の見直しにより、2名で32秒/袋を要していた作業を、1名35秒/袋とすることを実現。

企業E（桑名市）（H22）

業種 輸送用ベアリング等の金属熱処理加工

成果 炉止め基準書の作成によりエネルギー比率を15%以下に削減

# 高度部材イノベーションセンター (AMIC) の概要

(自律的に成長し続ける新しい世界初のオープンイノベーション誘発の中核)

## AMICの3つの主要業務

### ① 最先端部材の研究開発

- ・地域企業の高度部材研究開発テーマ発掘
- ・テーマに応じたユーザー企業探索、連携斡旋
- ・最適な大学・研究所の研究者、技術者探索、斡旋
- ・経産省、文科省、NEDO資金導入支援

### ② 中小企業の課題解決

- ・コーディネーターの中小企業訪問、課題発掘
- ・企業、大学、研究所、企業OB紹介、課題解決
- ・開発、生産、販売、経営手法、資金の支援
- ・AMICの部材評価機器開放、評価作業支援

### ③ 技術人材育成

- ・企業の設計・開発中核技術者の実学、基礎再教育
- ・製造現場管理者の品質、コスト、納期管理教育
- ・組込ソフト、メカトロ技術専門者育成
- ・高度部材開発過程でのスーパーエンジニア育成、実践、教育

AMICを舞台に  
多様な機関が連携

部材企業

部材のユーザー企業

地域中小企業

全国の大学・研究機関  
(産総研、地方公設試)

海外の大学・研究機関

連携

### イノベーションの創出に重要な異文化交流の場

- ① 異なる分野、組織、キャリア、バックグラウンドを持つ技術者が交流する場
- ② 講演セミナー、成果発表会、交流会、平生の接触、カフェランチなど通じた交流の場
- ③ 異なる知見、思考方法の研究者同士の議論からイノベーションのヒントをつかむ場



AMICセミナー、成果発表会の様子



AMICを舞台に  
多様な人材を育成

高度部材中核人材育成  
(スーパーエンジニア)

研究者

技術者

技能者



人材育成講座実習の様子



企業実習の様子

産学連携技術者人材育成事業  
1 設計開発技術者育成講座  
2 製造管理者育成講座  
3 組込ソフトウェア及びメカトロ技術者育成講座

工業高校実践教育導入事業  
○生徒の企業実習  
○企業技術者による学校での指導  
○企業現場における教員研修

研  
交  
人

究  
開  
発  
や  
流  
を  
通  
じ  
た  
材  
の  
育  
成

## 高度部材とは

原材料の純度、組織構造の高度な制御、加工成型技術で創られた、優れた性能・機能を持つ素材、部材、部品。

### <自動車に使用される高度部材の例>

- 軽量・高強度の樹脂系部材
- 燃料電池用の高耐久性触媒
- ワイヤーハーネス用の光ファイバー、部品



### <液晶パネルに使われる高度部材の例>

- 偏光機能を持つ化学素材
- カラーフィルターを持つ化学素材

